

## 大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

|           |   |
|-----------|---|
| 1. 整理番号   | 25  |
| 2. 大学等名   | 玉川大学  |
| 3. テーマ    | I・II複合型                                       |
| 4. 取組学部等名 | 文学部、農学部、工学部、経営学部、教育学部、芸術学部、<br>リベラルアーツ学部、観光学部 |
| 5. 事業期間   | 平成26年度～令和元年度（6年間）                             |

【公表】

| 8. 事業の概要（※400字以内）   | (396文字) |
|---|---------|
| <p>本事業は、アクティブ・ラーニング実施科目の体系化を図り、それぞれの科目でどのようにアクティブ・ラーニングが行われるかを学生に明示すると同時に、アクティブ・ラーニングが適切な指導のもとで行われるように教員の教育力の養成を目指すものである。加えて、学生には、アクティブ・ラーニングの有効性を高めるために、複数の専門的な支援スタッフを配置し、対応する。教員に対しては、アクティブ・ラーニングの手法を分類したうえで、その到達目標と適切な評価方法を教員間で共有できるように全員参加型のFDプログラムを実施する。アクティブ・ラーニング形式の授業を大幅に増やし、ルーブリックを採用することで、学生の授業外学修時間を十分に確保する。これにより、授業満足度および学修到達度等にかかわる全学的な教学マネジメントの改善を図る。さらに、学修成果の可視化を促進し、実社会に有効な学生のコンピテンシー開発につなげていく。</p> |         |